



*Kesoya Richo special
wabami presents*

懸想心屋

里長

江戸
吉原

里長さん
とっておきの
懸想文

三通
書いて
おくんなんし

三通?!

ええ
全部
違う旦那に

懸想屋里長

手習子

花魁
ずいぶん気前が
いい注文ですね

ふふふ
わっちにも
運が向いてきたと
いうことさ

では

俺はこの
吉原で
女郎相手に
客へ送る手紙の
代筆を生業としている

その三人の
素性を
聞きやしょうか

一人目

両替商の若旦那
器量は悪いが
遊び好きで
気前もいい

医者

その実坊主の
化けた姿
まだまだ
持っていそう

二人目

三人目

寺子屋の師匠
旗本の次男坊



花魁
この三人目だけは

無心のことやら
紋日にこだわらず
書いてようございますね



ああ
また通って行こうと
思うような

情が深い
文を
たのみいす

へーい



こんな見世には
そう何度も
通えないお方に

無理に
文をやらずとも
いいでしょうに



だって
この方だけは
お旗本といえども
先の二人よりはぐっと
余裕がなさそうだ

え？



お前には
やっぱり
隠し通せない
ものだね

そーさ
そのお方が
わっちの
本命



よい御武家様で

品があつて

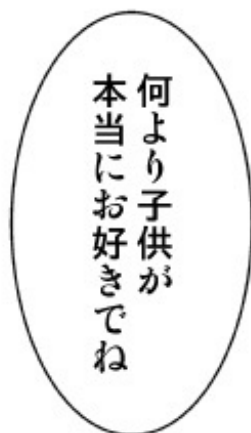


たしかに
上客では
ないが：



頭は丸鬘にして
子供らの親から
「御新造」さん
なんて呼ばれて

ずいぶん
途方もない
夢を見るのさ



何より子供が
本当にお好きでね



それくらい思っているなら
花魁自身が書いた方が
いいですよ





恥ずかしながら

わっちはどうしても
悪筆で
文を使わせない
女郎で通ってのさ



それが叶えばね



対して相手は
教養のある
武家の男



こればかりは

育ちが
隠せない
ようだ



漢詩の文句も
添えて夫仰に
やらかしてみた

それから数日後



春駒

久しぶりだね

まあ
主さんへ

達馬様

もう二度と
こんなところには
来られまいと
思っていたが



この文を
もらって

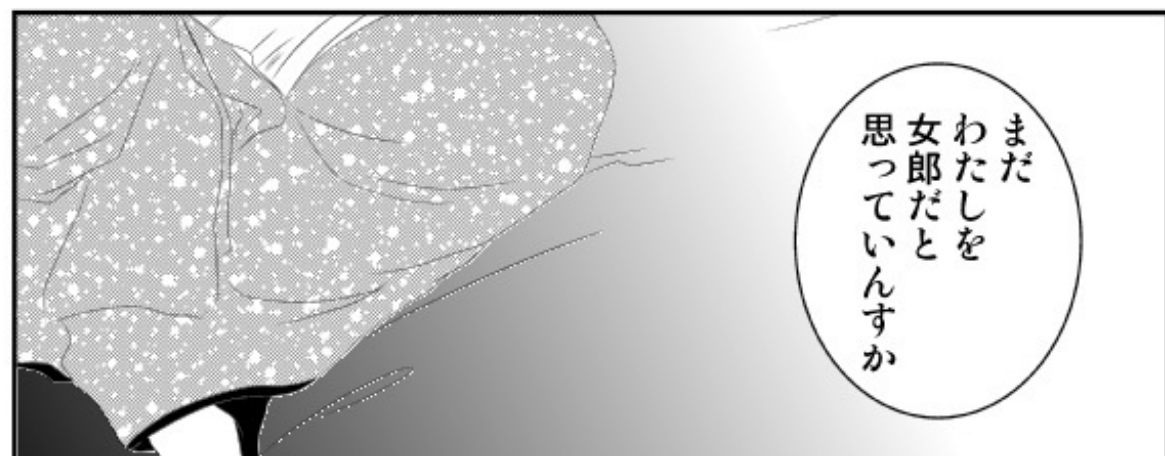
どうしても
お前に
会いたく
なった

ああ
うれしい

貧乏士族が
無理をして

初めて
上ったが
最後だな

そんなこと…
わっちはお前に
ただ会いたくて



まだ
わたしを
女郎だと
思っているか







手紙に
惚れなんしたの
かえ？

主は
わっちじや
なくて



では
いろはだけでも

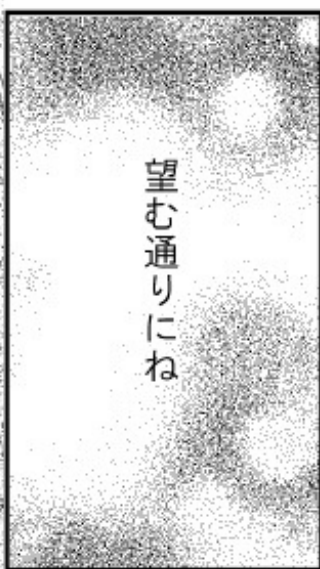
なぜ
そのようにっ



たしかに
これに惹かれて
また通ったよ…



そうだけど…



望む通りにね

女郎の手管が
こんなに
つらいなんて





私には
こんな素直な字は
もう書けないよ



うまく
いったが
失敗した
とは…



嘘をごまかし
続けるのは
つらくは
ありませんかね

元々
すべて
嘘だもの



それで今度は
手習の手本を
書けと？

いーんですが
真の相手なら

門を隔てて
あっちとこっち

傾城やら
花魁やら

ただの
女郎に
たいそうな
こと…

所詮
女房にだって
なれぬ身で

手紙一つで
夢を見られりや
いつそいいじゃないか

こんな
手紙じゃあ

三界の
鴉も
殺されや
しんせんよ

なるほど…

現在
わっちが
手習中さ



へえ

毎日これを
書いてると
いうわけですか

里長さん
また頼みます



豆腐の
裏表



嘘の裏表

この豆腐みたいに
何も変わらない

確信したよ

春駒には

嘘以上の
真実が
ある

数日後

きっとまた

かの男は
戻ってくるさ

